

## 謹賀新年

昨年は議員生活2年目、取り組むテーマが絞られてきました。「食育」は将来を担う人を育てる、すなわち館山の将来を決するもの。だから学校給食への取り組みは、いくら手を尽くしても過ぎることはない、最優先の課題ではないかと思うのです。そのために、「じのもの」が一番ダメをスローガンに終わらせず、その精神をとことん追及していくこと。さらに地域のものを積極的に購入することで、所得・生業や雇用を生むという実証研究もあり、「地産地消」が館山市の経済にとっても有効だと確信しています。

今年の干支は丁酉(ひのと・とり)。火(丁)が金(酉)を溶かす「相克」(矛盾の状態)だそう。革命の年」とも言われていますが、将来に大きな影響を及ぼす決定については、きちんと予測を立て次善の策も練って、慎重に熟考してから一歩を踏み出すと良いようです。

市議として、常に「市民にとって長い目でみて何が良いことなのか」を念頭におきながら、できる限りの調査・検討・活動を行っていきたくと肝に銘じています。

本年もよろしくお願ひ申し上げます。

\*なお、公職選挙法の関係上、市内の皆さまには年賀状のご挨拶を控えてさせていただきます。



### 新年茶話会のお知らせ

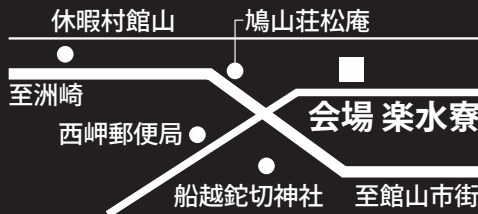
日時: 1月22日(日)13:30から  
場所: 楽水寮(館山市浜田160)  
TEL 29-0127

参加費: 100円

館山市について気になっていること、  
こういうアイデアはどうか、  
というご意見などお聞きます。  
お気軽にご参加ください。

お問い合わせ・お申し込み

- ・FAX & 留守TEL 29-5333
- ・Email muroatsumi@gmail.com



## 12月議会報告(一般質問)

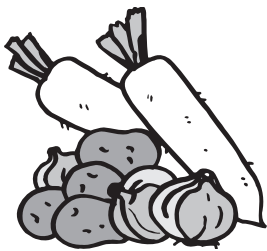
大規模事業に質問を絞り、事前に入念な準備を重ね、いつも以上の気迫で臨みましたが、またしても肩すかしの答弁が多く、次回への反省が多く残ってしまいました。

### ◆給食における地産地消

9月議会で判明した給食の館山産比率(18・6%、米を除くと4・5%)があまりにも低く衝撃的で、何とか打開する方法はないかと先進事例を紹介しました。市長は「地産地消に本気度はしつかりあります」「食は人を良くすると書く。食のまちづくりを進めるといふ信念に変わりはない」と発言していたので、学校給食の現状を憂いて何か動きがあるに違いない、と思って質問しました。ところが、市長はじめ執行部との温度差はあまりにも大きく、具体的な取り組みを聞くことはできませんでした。

教育長答弁の冒頭、国の食育計画を持ち出し、「県内産のものは目標値以上に使っている」と説明しました。だから十分にやっていると聞いたのでしょうか? 他市の先進事例についても、あら探しをするだけで、その熱い姿勢に学ぼうという意気込みは感じられませんでした。

本当は他にもそんなにうまくいっていない、だから館山市ができなくても当然だ、ということでしょうか。



### ◆新・給食センターについて

23億円という巨額な計画金額に関して、いすみ市との10億円の違いについて納得できる回答を引き出せませんでした。

面積の違い、との説明がありました。2倍も面積はありません。また基本設計から余裕をみた数値だ、ということですが、実施設計で大幅に下がるのでしょうか。館山市では揃えない炊飯設備について(炊いたご飯の方が安いと主張しています)、新規に採用する災害時の設備について(費用対効果からみて適切な内容か?)、まだまだ確認したいことがあります。従って、建設経済委員会の所管事務調査として、あるいは次回議会でも詳細を確認していきます。1割でもカットできれば、2億円の税金が節約できるのです。

### ◆安房広域ごみ処理施設計画について

12月議会の最大の焦点は広域ごみ処理施設の問題でした。20年前から安房3市1町で検討を進めてきましたが、10月に館山市長が唐突に離脱表明をし、議会での対応も問われました。市長の一方的な宣言で広域の取り組みから抜けることはできないからです。他市町の合意も必要です。

12月議会終了後の全員協議会の場で「やむなく離脱を了承する」という市議会の意見をまとめましたが、私は一人これに反対しました。あらゆる手を尽くした上での結論とはどうしても思えなかったからです。

(詳細裏面に)

特集

広域ごみ処理施設建設問題について

(表面の解説も参照)

◆議長から市長へ

(市議会賛成多数)

広域ごみ処理施設建設に関しては、二度にわたる建設用地取得の断念があり、館山市議会としても事態を重く受け止め、構成市町の今後の対応等を再検討するよう、安房郡市広域市町村圏事務組合議会議長に申し出ることにしていた。その上で、館山市議会の提案を基に広域議会の中で議論することになったものであり、館山市の離脱表明については広域議会の審議経過を待つて表明するよう市長に申し出たところである。

しかしながら、館山市議会の意向は生かされることなく、10月11日の広域議会で金丸市長から離脱表明がなされ、さらに離脱に関する館山市議会の了承がなのまま11月1日、全市民にチラシ「ごみ処理事業を館山市単独で実施する方針」を配布したことは、著しい議会軽視であり極めて遺憾である。

また、広域事務組合の中心都市である館山市が構成市町との調整もなく突然離脱表明したことによって、構成市町との信頼関係を著しく損ねてしまったことは、市長の問責に値すると言っても過言ではない。

金丸市長は、用地取得の失敗の責任をとって理事長職を辞職するのではなく、他の理事と胸襟を開いて施設の寿命や財政面からの議論をして、今後の当該事業のあり方を明らかにすべきであった。

市長から離脱表明がなされた以上、館山市議会としてもその妥当性を判断して市民に説明する責任があり、この

問題に対しては12月議会での一般質問に続き、自由討議会、全員協議会を開催して以下のとおり意見を集約したのて通知する。

(結論)

「広域ごみ処理施設建設からの離脱については、止む無し」として承認。

(理由)

1 広域の新施設が現有の施設の耐用年数内に建設できる見通しが立たず、市民生活に直結する安定的なごみ処理のためには、大規模改修が必要であること。

2 館山市の財政は非常に厳しい状況であり、大規模改修と広域の新施設建設を並行して負担する財政的な余裕がないこと。

なお、離脱に関する一連の説明を受け、次のことを誠実に実行するよう市長に申し入れる。

1 離脱には構成市町の了承、議会の議決が必要であり、市長は混乱を招いたことの謝罪と、理解を得るための丁寧な説明に努めること。

2 ごみ処理事業の館山市単独化をはじめ多くの大規模事業が控えていることから、中長期的な視野で健全財政の維持に努めること。

3 市民に対し、長期財政推計の説明を丁寧に行い、館山市の財政状況について理解を得ていただくとともに、館山市の行財政改革に対する協力をお願いすること。

◆むろあつみの反対意見

第一に、財政が厳しいから離脱する、という市の説明に説得力がありません。

市は平成33年以降、財政調整基金が0になるという20年間の財政見通しを示しましたが、これは条件を変えれば如何様にも変えられるものです。例えば投資的経費が毎年15億円ずつ固定で計上されていますが、これを抑えれば市の貯金を増やしていくこともできます。本当に貯金(財調)が底を尽くるのであれば、先ずやるべきことは、検討している全ての事業を洗い直し、不要不急な投資を控えることではないでしょうか。貯金がなくなるから広域のごみ処理負担ができないというのはあまりに短絡的です。

第二に、広域だと二重の投資になる、という説明も恣意的です。

現在の設備の延命化と新規設備の投資は確かに二重の投資ですが、それは単独でも同じはず。一方、単独よりも広域で設備建設する方がスケールメリットがあると現時点でも市は明言していますので、目の前の事情だけでみずみず不利な方法を選択する、という決断になりかねません。あるいは単独の場合は、32億円かけて延命化せずに、新規投資をするので二重の投資にはならない、ということでしょうか？ 未だにその返事はいたっていないません。

第三に、長期的な視野、展望がない点です。

離脱して単独でごみ処理施設を建設すると言いながら、いつどのような施設を作るかの見通しを作ることを避けています。目の前の

問題から逃げて、今さえしのげれば自分の居ない将来のことは知らない、という無責任な態度に思われます。

以上、矛盾あるいは説得力のない市の説明を安易に受け止め、必要な数値の検証がまだ十分にできない状態の中で議会が市長の離脱表明を承認することは、市長の拙速な行動と同罪であり、市議会も「怠慢」のそりを免れないのではないのでしょうか。「市長の離脱表明の仕方がおかしい、問責に値する」というのであれば、広域の他市町とゼロベースであらゆる選択肢を考え、それぞれのメリット・デメリットを比較検討し、館山市民ならびに安房地域全体の将来にとって最善の方策を検討すべきと考えます。

なお、私人としては、市民が納得できる具体的な説明を引き続き求めてまいります。それは、館山市単独で設備を作る場合、いつどのくらいの規模で事業費はいくらと見積もるのか、ということ。その数値がなければ、将来的に広域と単独のどちらが本当に市民にとって良いのか、判断できません。また、単独でやるにせよ、延命化のための32億円の投資をすべきか、延命化せず新たに設備を作る方が良いのか、という点についても、その数値により検証・追及していきます。

最後に、館山市が安房地域の中心としての役割を担おうとするのであれば、相応の見識と冷静な分析力、交渉力、将来を俯瞰する力、強力なリーダーシップが不可欠と考えます。